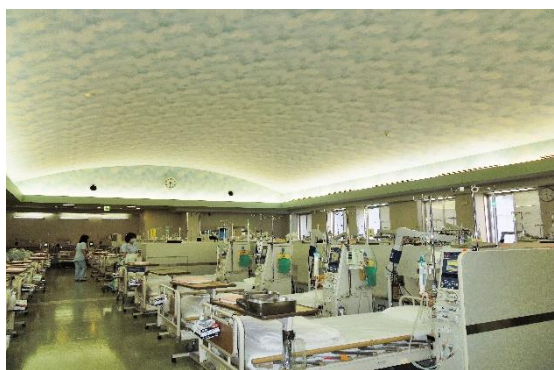


透析室のご紹介①

第一透析室

(看護師29名 臨床工学技士6名 看護補助者3名
クラーク1名)

本院の中では、最大のベッド数55床が稼働しています。シフトは、朝・夜シフト(一部昼シフト)で行っています。外来維持透析を基本としていますが、外来受診や検査後の透析・他院からのゲスト透析も受け入れ幅広く透析患者さんに対応しています。



第二透析室

(看護師12名 看護補助者2名 臨床工学技士2名)

ベッド数は23床、透析シフトは、朝、昼シフトを基本に行っています。

2013年11月より月水金の夜間のみ長時間透析(オーバーナイト透析)を行っています。改築後は新館へ移動する予定です。



第三透析室

(看護師17名 臨床工学技士4名 介護スタッフ1名
看護補助者2名)

外来側(18床)と入院側(10床)に分かれており、入院側へはベッドのまま入室が可能です。そのため、ベッド上安静を要するような患者さんもあります。

また、透析導入の担当部署でもあり導入前の事前訪問を行い、安心して透析生活に慣れて頂けるように努めています。



<今後の透析室看護体制について>

現在、病院内に透析室が3部署ある中で、それぞれの部署の特殊性や患者さんの状況に合わせて、第1透析室 朝・夜シフト 第2、第3透析室 朝・昼シフトとし、治療時間(開始、終了時間)の統一がされてきております。

今後は、来年の3月以降より稼働する新透析室の運用を踏まえて、部署間を超えた柔軟な勤務体制の構築を図っています。理由として透析室を機能的に運用していく際、患者の皆様にご不安を与えず、どの部署でも安全に透析が行えるため取り組んでいます。色々ご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願ひします。

看護部課長 今井 眞里

スタッフ数、ベッド数は2014年3月現在

透析室のご紹介②

増子クリニック昴です。

「昴」基本方針

- ・良質な医療の提供・スタッフ及び環境、設備の充実と新しい医療の導入、研究
 - ・十分な説明と納得・患者の皆様を自分の家族だと思って診療に当たろう
 - ・時間の節約・約束時間を遵守し診断も治療もできるだけ早く
- チーム医療の実践・各職種のスタッフがそれぞれの専門の立場からの医療を展開する

「昴」のコンセプト

- ・安全で長生きのできる透析（患者のため）
- ・みんなでさんざめいて運営（運営の基本）
- ・権限と責任と期限を限った仕事（職員の為）



昴のコンセプトの一つである「いつまでも自分の足で通院」を目標に筋力・体力向上のストレッチやレジスタンストレーニング、持久力トレーニングなどを行っています。定期的に筋力や持久力評価などフィードバックを行い意欲的にリハビリが継続できる環境を整えています。



足浴室は、患者さんが自分で洗える場所と介助で行う場所があり車椅子での処置や炭酸泉浴など豊富なフットケアが提供できます。

〈昴の近況報告〉

昴は平成17年11月にオープン、もうすぐ10年目を迎えます。

現在では患者250名~260名の方が通院されています。

常勤医師3名、臨床工学技士5名、看護師30名、看護補助者7名、理学療法士2名事務クーク2名でさんざめいて運営しています。

昴は3フロアで各チームに分かれており一つの部署として柔軟に応援体制があり少数精鋭で頑張っています。日常業務ではフットケア、シャントチェックを中心に活動しスタッフ皆が研究活動にも参加。勤務以外ではアットホームなクリニックです。是非一度足を運んで下さいね！



看護部課長 町田みゆき

〈編集後記〉

今回は、当院の各透析室について御紹介させて頂きました。さらに来年3月には、新館に新透析室が稼働を始めます。それと同時に今回ご紹介した各透析室を、より機能的に運用したいと思っています。

御高齢の方が増えてきたこともあり、第一透析室は介助を必要とする方、新館の透析室は介助を要さず一人で通院が可能な方、旧第二透析室は長時間透析の方、第三透析室は入退院が多い方のための透析室としていきたいと思ひます。

そのために、今年6月頃から少しずつ透析室の移動をお願いする事になると思ひます。

ご不便をおかけしますが何卒、御理解御協力の程お願い申し上げます。

部長(透析担当) 森弘 卓延